皆様のお役に立てるよう、社員一同日々研鑽を重ねてまいります。本年も変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

社員一同

協力事務所の皆さんとの
2023年忘年会にて

PROJECT　工事中です

宝塚小浜プロジェクト

新築工事

兵庫県宝塚市
24年6月竣工予定
施主　株式会社チャーム・ケア・コーポレーション
施工　日本建設株式会社
鉄骨造地上5階建

完成予想パース

宝塚市小浜で有料老人ホームの新築工事が着工しました。自然環境に恵まれた宝塚にふさわしい、花と緑に囲われた住空間となるよう、室内と庭との連続性を意識しました。前面道路からも緑が楽しめるよう、透かし積みのレンガの塀を計画しています。

また、宝塚市の花（スミレ・ダリア）を取り入れた規模の異なる庭は、それぞれテーマを設け、建物に彩りを添えています。（若林・細岡・金重）

A有料老人ホーム

新築工事

京都府京都市
24年6月竣工予定
鉄筋コンクリート造
地上4階建

完成予想パース

完成予想パース

京都市内で有料老人ホームの新築工事が着工しました。敷地は、自然豊かで落ち着いたエリアに位置します。階高を抑えて4階部分を一部セットバックすることで、個室46室の確保を実現しました。外観や内装は上品でやわらかい色合いとし、落ち着きのある住空間になるように計画しています。低い階高でも空間を彩る折上げ天井を食堂や談話スペースに設けられるように、断面計画を工夫しました。（若林・浜口・阿部）

先日、親戚と二條陣屋を訪れました。

二條陣屋は約350年前に建設されたお屋敷（1848-54年に再建）で、公事宿として、また参勤交代で京都を訪れる大名の宿泊所として屋敷を提供していたようです。

建物内は、大名らが敵から身を守るため「武者隠」や「吊り階段」「騙し戸」といった仕掛けが随所にあり、迷路のように入り組んだ空間構成となっていました。

一方、泊り客をもてなす意匠は繊細で美しく、大広間の欄間部分には「梅透かし」と呼ばれる透かし彫りの細工が施されていました。行燈を灯すと、梅の花がぱっと咲くように天井に花模様が映し出され、とても綺麗です。心安らぐひとときを過ごすことができました。

和田奈津子　Natsuko Wada

Editors

富永 斉美	Hitomi Tominaga
浜口 直子	Naoko Hamaguchi
阿部 麻衣子	Maiko Abe
中村 円香	Madoka Nakamura

お問い合わせ・ご相談は

株式会社 京都建築事務所

〒604-8083
京都市中京区三条通柳馬場東入中之町10番地
TEL:075-211-7277　FAX:075-211-7270
ホームページURL　http://www.kyoto-archi.co.jp/
メールアドレス　info@kyoto-archi.co.jp

とれみvol.58 2024年1月発行

とれみとは、ラテン語の「tres(3)」と日本語の「笑み」
―施主、施工者、設計者―　三者の笑みを表しています。

京都建築事務所ニュース

とれみ

Vol.58 2024 Winter

秋号に引き続き【RYOKAN GINKAKU KYOTO】のご紹介です。
今回はこだわりの内観をご案内します。（宮本・丸山・山根）

宴会場「紫雲」

緞帳

プレオープン試食会

宴会場「紫雲」は４００名が一同に会食でき、防音仕様となっています。また藤と杜若（かきつばた）と流水をデザインした緞帳を備えた桧舞台を設えています。

茶席「向月庵」

水屋を備えた茶席「向月庵」は鹿苑寺銀閣の向月台にちなんでおり、枯山水の石庭も設えています。月字型の襖引手や竹製のコンセントプレートなどで趣向を凝らしています。トイレ、浴室、洗面室を備え、客室としても利用できます。

客室「椿の間」

客室「若紫の間」

61室ある客室は全て床の間の設えや襖紙、畳縁の柄が異なり、室名にちなんだ彩色としています。また、棹縁天井は和室に格式を与えています。

客室「蛍の間」

客室「下鴨の間」

内部デザイン

修学旅行生に京都の伝統と暮らしを学び、体験していただきたいという施主の思いから、棟名や室名を京の歴史風土にちなんだ四神や二十四節気、地名や通りの名とし、そこから連想される和の色彩とデザインでインテリアをまとめています。また各室名の由来について室名サインに記載し、QRコードでさらに詳しい由来や歴史、観光についての情報を入手できる工夫もしています。

客室名札

銀閣の「ギ」の字をデザインしたロゴで、お茶や聚楽壁にちなんだ色合いとしています。

室名の由来についての簡単な説明を記載しています。

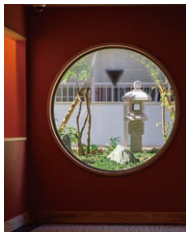
QRコードにスマホをかざしてみてください。室名に関連する情報を入手できます。

3階　EVホール

3階　廊下

4階　廊下

９階は源氏物語、８～５階は春夏秋冬、４～３階は通りと地名にちなんだ彩色デザインとしています。



大浴場「情花の湯」

大浴場「花鏡の湯」

地下１階には世阿弥の能楽伝書「風姿花伝」にちなんで名づけられた大浴場４室と貸切風呂１室があり、床、壁に張られた石の種類と天井の柄の組み合わせは、５室とも全て異なります。

貸切風呂「秘花の湯」

voice

株式会社銀閣は、これまでの「旅館銀閣」から「RYOKAN GINKAKU KYOTO」へ2023年５月27日に京都建築事務所様と施工者である真柄建設様の多大なるご尽力により、リニューアルオープンをいたしました。

弊社（館）は、1952年に初代代表である森卓子が創業し、夫の森藤吉が教育者であったため、日本全国の子供たち（教育旅行）の役に立ちたいという理念のもと、修学旅行の受け入れをメインとした旅館をスタートいたしました。全国の多くの学校様にご愛顧いただきましたが、長い年月による老朽化が進み、耐震工事を含めた改修工事を行うこととなり、2018年、旧旅館銀閣約66年の歴史にいったん幕を閉じる事といたしました。

従来の旅館仕様を踏襲し、京都ならではの建築基準を踏まえた無難なリフォームで済ませることもできましたが、「従来の修学旅行生にも一般のお客様にも、更にはインバウンドのお客様にも満足度の高い施設を創りたい」という私のハードルの高い希望を叶えてくださったのが京都建築事務所の皆様でした。完成まで何度も京都建築事務所のスタッフの皆様と試行錯誤を重ね、叡智を集結した施設が完成いたしました。

旅館でありながらも電気錠カードシステムや監視カメラによる防犯などの安全管理対策も万全とし、館内はラウンジを除いて段差の無い空間を創り出すことによりユニバーサルデザインを採用しました。また私の京都の水の流れへのこだわりから、ロビーに井水を使った流れとロビー吹き抜けに地階まで落ちる瀧を設え、屋外の建物外周部には段差のある流れを設えていただきました。

私を含めスタッフ一同、年間を通じて修学旅行生や先生方、一般のお客様、インバウンドのお客様に、より一層愛される旅館になれるよう努力して参りたいと考えております。

（代表取締役　久保田 健嗣 様）

左より、弊社プロジェクトマネージャー 山根宗泰、丸山雄太、株式会社銀閣　代表取締役 久保田健嗣様
弊社参与 宮本和則、株式会社銀閣　取締役支配人 真中喜晴様、取締役副支配人 貴志健司様